人をはぐくむ、住み続けたいまち西宮

西宮市制80周年

西宮市は、今年４月に市制施行80周年の節目を迎えます。大正14年の施行当時に人口３万人余りでスタートしたまちも、46万人都市に発展しています。

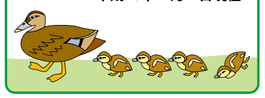
市の歩みと同じ80年の歳月を歩んでこられた市民の皆さんに、思い出を通してわがまち西宮を語っていただきました。

① 昭和30年代後半の酒蔵（建石町）
② 神戸女学院（昭和8年に神戸から岡田山へ移転）
③ 旧国鉄有馬線（昭和18年営業休止）の橋脚（山口町中野）
④ 阪神パーク（平成15年閉園）の人気者だった“きくこ”
⑤ 名塩ニュータウン
⑥ にぎわう甲子園海水浴場（昭和40年閉鎖）

私たちのまち西宮は、大正14年（1925年）4月1日に、兵庫県内で5番目、全国で101番目の市として誕生しました。

市制施行当時は人口3万4427人、世帯数7452、面積5.06平方キロメートルでしたが、今㈹では人口46万166人、世帯数19万2128、面積100.18平方キロメートルに。

※平成16年12月１日現在



酒と大学のまち

岡田眞男 さん
（広田町在住）

広田町の辺りは、私が小学生のころは武庫郡大社村大字広田と呼ばれていました。田んぼばかりで遮るものもなく、大社尋常高等小学校（現大社小学校）の校舎から、旧国鉄（現ＪＲ）の特急つばめが走り過ぎるのを眺めることができました。

子どもの時分、春わう広田神社の春祭りに出かけ、10月終わりから11月初めには、水を抜いた新池でこい、ふな、うなぎを捕る、じゃことりが楽しみでした。広田小学校がある場所も以前は山でして、松たけが採れていました。この辺りが住宅地として開けたのは、市営住宅が建ち始めた昭和30年代です。

西宮には「酒」の歴史がある。私の家は百姓をしていたので、子どものころ、酒屋が出す田んぼの肥やしを取りに、父親について行っていました。大きな酒蔵が立ち並んでいたものです（写真①）。

そして、西宮には大学・短期大学が集まる文教都市としての魅力がある。私は若い時分に教育を受けさせてもらえたことを親に感謝しています。学生たちが集う魅力を生かして、活気があふれるまちであり続けて欲しいです。

ふるさとに住み続ける喜び

吉住としゑ さんとひ孫の萌恵ちゃん
（神呪町在住）

子どものころの甲東村神呪は、山と田んぼばかりで、甲東尋常高等小学校（現甲東小学校）が田んぼの真ん中にぽつんとありました。また、戦前までバス道の向こうに芝川農園の果樹園があって、たくさんの人が働きに来ていました。桃やくりなど四季折々の果物を、かごに入れてこの辺りに売りに来ていました。それが今は、すっかり住宅街に変わりました。

当時は、小学校の校庭に教育勅語が置かれた奉安殿が建っていて、運動場に遊びに出たら、まず奉安殿に向かい最敬礼していた時代でした。学校が終わると、お友だちが「いちご狩においで」と招いてくれて、畑でちぎりながら食べさせてもらいました。日曜日には、神戸から岡田山に移転してきた神戸女学院（写真②）の日曜学校にお友だちと一緒に通って、賛美歌を歌い、お遊戯をした思い出もあります。

同窓会で、西宮を離れた人に会うと「地元におれるなんてうらやましいわ」と口々におっしゃります。

父、私、息子、そして孫も甲東小学校に通いました。昨年にはひ孫が生まれ、5代続いて同じ小学校に通えることを、とても喜ばしく思っています。

昭和30年ごろの西宮

天野　譲 さん
（中島町在住）

私は、2年前まで天道町におりました。天道町に住み始めたのは、長女が瓦木小学校に入学した昭和29年で、旧国鉄（現ＪＲ）甲子園口駅の周辺は住宅地でしたが、天道町の辺りは田畑が広がる田園でした。

当時、私は石在町にあったもやし工場から、もやしを卸売市場（現ＪＲ西ノ宮駅南西）へ運送していました。東川をはさんで東と西にまたがった大きな市場でした。

家族であちこち出かけ、夏は海へ泳ぎに行きました。そのころの西宮の海はきれいで、甲子園や香櫨園の浜辺は海水浴を楽しむ人でにぎわっていました（写真⑥）。当時は、小学校の水練学校（水泳の授業）が甲子園浜で行われていて、長女が在学中に、瓦木小学校にプールができたことを覚えています。

西宮は、甲子園球場に全国から人が集まり、注目されるまちです。西宮の名がさらに広まるよう、甲子園を訪れる人に、西宮の名をPRする土産物が欲しいです。

北部・南部ともに発展を

本多　悟 さん
（山口町上山口１丁目在住）

私は旧有馬郡山口村で生まれ育ちました。昭和16年当時、三田の県立農林学校に旧国鉄有馬線の汽車で通っていました。公智神社辺りに「有馬口」（ありまぐち）の駅があり、山口支所の手前の踏切から線路を歩き、「まっといてくれよ！」と手を振ると汽車が待ってくれた思い出があります。

その線路敷も市道に変わりましたが、残された橋脚（写真③）を見ると、当時が懐かしく思い出されます。

山口村は昭和26年に、塩瀬村、鳴尾村とともに西宮市に合併しました。私が教員として塩瀬村の塩瀬中学校に赴任した2年後のことでした。山口にはその当時から、近所で助け合う気風がありましたが、人口が増えるとともに、そういった意識がだんだん薄れていくようで寂しく感じています。若い世代が増え、暮らし方も多様になるなか、昔の良さを温存しながら新しい時流に乗っていきたいものです。

北部の人口も増えました。子どもたちのために、図書室や児童育成センターなどを開設したり、盤滝トンネルを通る南北を結ぶバスの運行が望まれます。南部に遅れることがないよう、さらに住み良くなってほしい。

思い出の阪神パーク

村田敏子 さん
（浜甲子園３丁目在住）

西宮市に引っ越してきたのは、今から30年ほど前です。近くの甲子園浜では、戦前までいわし漁が盛んだったようですが、私が住み始めた昭和50年ごろでも、投網でいわしを捕っている人がおられました。浜辺では桜貝がたくさん拾えたので、拾っては、お友達にあげていました。

生まれは大阪の心斎橋のそばですが、子どものころに、西宮を訪れる機会がありました。通っていた大阪の小学校は運動場が狭かったので、運動会は西宮の浜の手にあった大きな運動場で開催していました。

また、その当時甲子園浜にあった阪神パークには、よく遊びに来ていました。その阪神パークが、一昨年の春に閉園するというので、人気者だったゾウのきくこ（写真④）に会いに行きました。きくこのもらわれていく先が決まったとき、思い出に「閉園や象のいきさき決まる春」という句を詠みました。阪神パークは、とても思い出深い場所です。

私は、西宮に住むまであちこちにいましたが、西宮は南北に広く、海も山もあって住み良いところだと思います。あまり高いビルがないのも、このまちの良さですね。

ニュータウンで新たな青春

河野六郎 さん
（東山台１丁目在住）

私は昭和35年ごろ、松並町におりました。武庫川がすぐ近くなので、風光明媚（めいび）な松並木の河川敷をよく散歩しました。旧国鉄（現ＪＲ）甲子園口駅から通勤していましたが、駅前通りは商店街の買い物客でにぎわっていました。

その後、大阪の千里ニュータウンへ転居し、再び西宮に移り住んだのが、阪神・淡路大震災に遭う前年の8月です。斜行エレベータに乗って、高台のニュータウン（写真⑤）へ初めて来たときは、「空が広くて、結構なとこやなぁ」と感じました。空が近く感じられる場所なので、趣味の俳句で「初景色見馴れし山の今朝の空」などと、空を詠んだ歌も多いです。静かな環境ときれいな空気が気に入っています。ただひとつ、近くに総合病院があればより住み良いと思います。

70歳を過ぎてから住み始めたまちで、新たに知り合った友と、ハイキング、グラウンドゴルフ、奉仕活動など、日々楽しく過ごしています。

謹賀新年

旧年中は格別のご愛顧を賜り組合員一同、厚く御礼申し上げます。本年も「信用本位の店」を第一の本旨として、皆様のご要望に応えるために精励して参る所存です。どうか倍旧のお引立てを戴けますよう伏してお願い申し上げます。

西宮石材業協同組合

●篠畑石材店　門戸西町４番18号　☎(52)0312
●礒田石材店　松風町４番13号　☎(74)4236
●ナカタニ石材企業㈱　阪急苦楽園口駅 北二百米　☎(72)5551
●㈱岡崎石材店　北名次町６番46号　☎(71)0077
●日本庭園石材㈱　浜脇町６番23号　☎(22)1515
●㈲中原石材工業所　名次町12番27号　☎(73)5334
●㈱石常竹田石材店　奥畑８番45号　☎(71)7256
●上中造園石材㈱　西宮浜１丁目12番２号　☎(34)6477
●㈲石増石材店　西宮戎神社南門前　☎(26)1510
●竹下石材店㈲　甲山大師前　☎(71)6403

明けましておめでとうございます

今年も宜しくお願いいたします。

阪神米穀のお米　えべっさん

■本社　TEL.0798(26)0221(代表)

えべっさんのお米

お米のプロが選び抜いた、良質で美味しいお米です。また、西宮えびすの行事にも使われている「福の米」。

ぜひお試しください。

阪神米穀は「おいしいごはんを食べよう県民・国民運動」を応援しています。